

仏教とお寺をやさしく解説

さんが

Saiganji Sainomiyako Memorial Park News

2022年6月
第49号
(年4回発行)

夏号

発行部数3千部



「戒名を授かる」

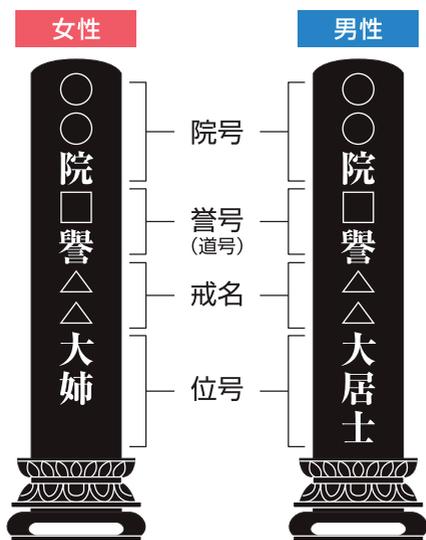
シリーズ浄土宗／阿弥陀如来と両脇侍

実践教室／法事は誰のため？

お盆会・合同新盆法要のご案内

戒名を授かる

仏教徒としての名前を表す言葉を戒名、又は法名といえます。戒名は、仏弟子となるときに戒を授かり、戒律を守り仏教徒として生きる人の名前です。戒名はいつ、どのようにして付けられるものなのでしょう。



戒名の構成

戒名は通常二文字で表されます。そこに院号、道号（浄土宗では誉号）、位号などが加わって、長い名前になったものを、一般的には広い意味での戒名と称しています。

院号は、「鳥羽院」や「後白河院」など、退位して出家した天皇の御所の呼び名が始まりです。皇族や貴族、社会的貢献度が高い人に与えられるとされるものです。戒名の始まりとなることがあり、「○○院」と表します。

道号は、近年では故人の人柄などが表される文字が使われる事が多いようです。※水子・幼児・未成年には、道号をつけません。

戒名は、道号の次に続く2文字が本来の戒名を示します。戒名には、現世での名前や経典の中にある文字を取って付けます。

位号は、戒名の最後に付く尊称です。成人は、性別・社会的貢献度・信仰心・社会的地位によって、男性は「信士・居士・大居士」、女性は「信女・大姉・清大姉」と位号が決まります。また、水子・幼児・未成年者には、性別と年齢に応じて位号が付けられます。



戒名はいつ付けられるのか

昨今は、亡くなってから頂くことが多くなり死後の名前のように思われてる方もいますが、「戒名」は本来、生前に仏教の教えを指針として生きていこうと思いい立ったときに授戒会や五重相伝を受け、その証に授かる仏弟子としての名前なのです。

授戒会と五重相伝

戒名は、授戒会や五重相伝を受け「戒」を授かることでつけられます。「戒」とは、仏教をよりどころとする全ての人が守るべき規範のことで、これを授かり保つことを誓う儀式が授戒会です。五重相伝は、浄土宗のお念仏の教えを、檀信徒に檀信徒に五つの順序にしたがって伝える法会です。数日間にはわたって行われ、この法会で浄土宗の教えの真髓や奥義を伝えられます。

問 戒名は宗派によつての違いがありますか？

答 はい。浄土宗ではよこ「誉号」と言い「**誉**」の文字を使いますし、浄土真宗では戒名とは呼ばず法名と呼び、「**釋**」の文字が入ります。正確には「**誉**」や「**釋**」の後の〇〇という二文字が戒名や法名にあたります。

問 「**誉号**」にはどのような意味が含まれているのですか？

答 浄土宗の教えを守る篤信者を表します。授戒会や五重相伝を受け戒を授かった人に与えられていたのですが、近年は一般の信徒の方にも使われています。

問 戒名には位がありますが、それは何を決めるものなのですか？

答 仏教では誰かより上だとか、下などもなく平等を説いています。戒名に付けられる位は、あくまで故人の信仰心や人柄を表すものなのです。

著名人の戒名

俗名	戒名・法名	職業
中原中也 (1970~1937)	放光院賢空文心居士	詩人・歌人・翻訳家
齋藤茂吉 (1882~1953)	赤光院仁譽遊阿暁寂清居士	歌人・精神科医
逸見政孝 (1945~1993)	誠實院温譽和顔政孝居士	アナウンサー
手塚治虫 (1928~1989)	伯藝院殿覺圓蟲聖大居士	漫画家
松本清張 (1909~1992)	清閑院釋文帳	作家
黒澤 明 (1910~1998)	映明院殿紘國慈愛大居士	映画監督
樹木希林 (1943~2018)	希鏡啓心大姉	女優
西城秀樹 (1955~2018)	修音院釋秀樹	歌手
梅宮辰夫 (1938~2019)	浄海院和譽辰照居士	俳優

阿弥陀如来と両脇侍

西願寺では、本尊である阿弥陀如来像を中央に配した阿弥陀三尊が祀られています。中央に阿弥陀如来、両脇侍には、浄土三部経の「無量寿経」「観無量寿経」に基づき、観音菩薩、勢至菩薩を祀ります。それぞれの菩薩はどのような菩薩なのでしょう？



勢至菩薩

阿弥陀如来

観音菩薩

如来と菩薩

如来は、「真理を悟った者」の意です。最も尊い仏とされ悟りを開いた仏が如来です。その姿は出家後の釈迦の姿をモデルとしている為、大日如来以外は、装飾品などは身に着けず簡素な姿で表されています。菩薩とは、悟りを求め修行するものを意味し如来を補助する役割です。姿の特徴は出家前の釈迦をモデルとしている為、冠や様々な装飾具を身に着け華やかな姿をしています。

観音菩薩（左脇侍）※向かって右側

阿弥陀三尊の脇侍としての観音菩薩は、『観無量寿経』に説かれるところから阿弥陀如来の「慈悲」をあらわす化身とされ、頭上には阿弥陀如来の化仏と言われる、小さな仏の形像を頂き、蓮華や水瓶を持つもの、両手で蓮華をかたどった蓮台を持つものがあります。また、観音菩薩は、観世音菩薩、観自在菩薩、救世菩薩など様々な別名があり、観音の音は人々の救いを求める音（声）でそれを観る、すなわち私たちの願いを聞き入れてくださるとされ一尊での信仰も多くあり「観音さま」と呼ばれ親しまれています。

勢至菩薩（右脇侍）※向かって左側

右脇侍の勢至菩薩は、智慧の光ですべてを照らし、人々の迷いを取り除く菩薩と言われています。浄土宗の宗祖法然上人は幼名を勢至丸といい、「智慧第一の法然坊」とも言われていました。このことから法然上人を勢至菩薩の化身とする説が中世からあったそうです。勢至菩薩像は、合掌した姿で造られるのが普通で、頭上には水瓶がついた宝冠をつけているのが特徴です。

法事は誰のため？

法事とは、仏法の行事のことをいいます。「法事」と聞くと、私たちは一周忌や三回忌など亡き人を偲び営まれる年忌法要を思い浮かべますが、年忌法要に限らず仏教の行事すべてを法事と言います。

年忌法要などの行事では、亡くなった故人のためだけでなく、亡き人をご縁に、その場に参集した家族、縁者の一人ひとりが共に仏法に触れお念仏をとえ絆を深める事にも意義があります。亡き人を偲びつつ今を生きているわたしが仏縁を結ぶ場、これが法事なのです。

一年に数回の法要が重なった場合

年忌法要の日取りは、しきたりでは祥月命日（亡くなった同月同日）に営



むとされてきましたが、現代の生活の中では様々な事情により命日に営むことができない場合も多々あります。そのような場合、一般に、命日に近く、また命日にあたる日より早い日に法要を営みます。

また、「祖母の十三回忌と父の七回忌が同じ年に重なる」など複数の故人の法要が重なる場合など二つ以上の法要を同時に合わせて営む事があります。これを併修と呼びます。法要の本来の意味を考えれば、お一人お一人お勤めしたいものですが、現実問題としてそうはいかない場合も多いものです。常識の範囲での併修を行う家庭も少なくないようです。

常識の範囲外の併修とは？

「一周忌の時に翌年の三回忌の分の法要も一緒にしたい」「今年の母の三回忌と二年後の父の七回忌を併せて…」などのお勤めは法要を営む意味からも大きく外れてしまいます。改めて法事の意味を考えてお勤めしたいですね。

暮らしの中の 仏教語

「面目」【めんぼく】

体裁が悪かったり名誉がひどく傷ついて他人に顔向けが出来なくなったときなど「これじゃあ面目丸つぶれだ！」なんて思った経験はありませんか？

このように面目は、世間に対する名誉や体面のことを言いますが、仏教の世界では「めんもく」と読み禅宗では「本来の面目」という言葉が使われます。その人が持っている生まれながらの性質を指し、自己、人間の真の姿、ありのままの姿を意味するそうです。

世間体だけを気にするのではなく、本当の自分を見失わないようにしたいですね。



西願寺 大施餓鬼会法要

令和4年5月25日(水)

先祖追福のために、また一切の生物の霊を慰め、あわせて自分自身の福德延寿を願う法要として、西願寺では毎年5月に執り行われる大供養法要です。



施餓鬼棚

西願寺 お盆会のご案内

お盆会 7月13日(水)～7月15日(金)

旧盆会 8月13日(土)～8月15日(月)

■ 合同新盆供養 ■

日時 令和4年8月7日(日) 10時～

場所 西願寺本堂

■ 盂蘭盆会合同供養 ■

日時 令和4年8月13日(土) 10時～

場所 西願寺本堂



引き続き
新型コロナウイルス感染症拡大
防止対策にご協力ください

行事参列、ご参拝の際はマスクの着用をお願いします。

また、施設利用の際は、備え付けのアルコール消毒液にて手指の消毒をお願いします。



【おしらせ】

西願寺・彩の都メモリアルパークでは、家族の一員として可愛がってきたペットの埋葬についてのご相談も承っております。お気軽にお問合せください。

■ お便り募集 ■

編集部では皆さまからのお便りを募集しております。仏事の疑問や悩みごと、身近なできごとや日頃感じていること、川柳など、どうぞお気軽にお寄せください。

◆ イオ株式会社

西願寺・彩の都メモリアルパーク通信「さんが」編集部
東京都千代田区麹町二・十・三・一〇二

FAX 03 (62695) 1362 Mail: info@io-conet

■ 次号予告

次号は令和四年八月発行予定の「秋号」です。



◆編集後記

「さんが」夏号を発行する時期になるとお施餓鬼を営むお寺があちらこちらで増え始め「そろそろ夏だなぁ」と季節を感じます。お施餓鬼やお盆の話題の中で「お施餓鬼はお盆の別名なのでは」そう思っている方がたまにいらっしゃいます。そう思いたくなくなる気持ちもよくわかるのですが、お施餓鬼は阿難尊者、お盆は目連尊者の話に由来している全く別の行事なお間違え無きよう…。さて、今号では戒名について掲載しています。墓所などで彫られている戒名を見るとその文字の意味から「こんな人だったのかなあ」とか「○○関係のお仕事をされていたのかも？」と生前のその方の人となりをおぼろげに思い出す戒名も多いですね。今年のお盆は、様々な意味のこもった戒名が記されたお位牌を前に直接会った事のない先祖様への思いを巡らせてみるのもいいかもしれませんね。

発行者

遊馬山一行院 西願寺

〒三三四〇一〇〇三二 埼玉県草加市遊馬町四三〇番地

電話 〇四八一九二五一一七三

FAX 〇四八一九二五一一七八九

彩の都メモリアルパーク

〒三三四〇一〇〇三二 埼玉県草加市遊馬町二二六〇一九

電話 〇四八一九二二一四一九四

FAX 〇四八一九二二一四一九五

企画・編集・製作

西願寺 丹羽義昭住職

イオ株式会社 西願寺・彩の都メモリアルパーク通信

「さんが」編集部